



## 2学期が始まりました！

38日間の夏休みが終わりました。夏休み前半に実施された県中総体や吹奏楽コンクール、そして、九州大会に出場したみなさんは、とてもよく頑張ってくれました。

県中総体では、私は男子バレーボール部、空手道部、柔道部、男・女ハンドボール部の応援しか行けなかったのですが、他の競技でも出場した選手の皆さんはよく頑張っていたという報告を受けています。

また、吹奏楽コンクールでは本校吹奏楽部がゴールド金賞を受賞して、今年も県吹奏楽コンクールに出場することができました。県コンクールでは優秀賞を受賞し、九州大会出場まであと一歩と迫る素晴らしい演奏で、私もとても感動しました。

今年の暑い夏は大野中学校の学校名が多くのお場で響き渡りました。九州大会では、佐世保市がお会場となったハンドボール競技で、本校男子主将の冨野 叶翔さん、女子主将の松本 真有音さんが、立派な選手宣誓を行いました。

九州大会、そして全国大会に出場した部や選手を以下に紹介します。（敬称略）

### 【九州大会出場】

- ・女子卓球部 大坪 真陽（3年） ・体操部 上近 琉斗（3年）
- ・柔道部 牟田 桜雪（3年） 浦田 鈴菜（2年）
- ・水泳部 緒方 陽和（1年）
- ・男子ハンドボール部 ・女子ハンドボール部
- ・地域クラブ所属（ソフトテニス） 前川 惇（3年）

### 【全国大会出場】

- ・体操部 上近 琉斗（3年） ・柔道部 牟田 桜雪（3年）
- ・地域クラブ所属（ソフトテニス） 前川 惇（3年）

※上近さんは、10月に佐賀で開催される国民スポーツ大会にも出場します。

さて、昨日始業式を行いました。式辞では、それぞれの学年に対して2学期のキーワードを示して、私からのお願いをしました。

### 【1年生へ】

1年生の皆さんへ贈る2学期のキーワードは「成長」です。中学生としての行動面の成長。勉強や部活動に取り組む意欲の成長。心と身体の成長など、成長にはたくさんありますが、一番お願いしたいのは「心の成長」です。「心の成長」で大事なものは、人とのつながりです。自分の価値観に合わないからといって、蔑（さげす）んだり、傷つけたりするような言動がないよう、相手の立場に立って考えることができる、思いやりのある温かい心を育ててほしいと思います。入学式の時のキラキラとした皆さんの瞳を覚えています。2学期は多くの学校行事が予定されています。学級が一丸となって取り組めるように、再度中学生になった頃の初心に戻って2学期の生活をスタートしてください。

## 【2年生へ】

2年生の皆さんへ贈る2学期のキーワードは「行動力」です。1年生の皆さんに「成長」というキーワードを伝えましたが、2年生の皆さんは、1年生の頃と比べると、生活面・学習面とも、とても成長しました。これから、部活動はもちろんのこと、生徒会活動などの主役・リーダーが、3年生から2年生の皆さんに引き継がれます。そのために何か一つでもいいから、勇気を出して、一步踏み出してください。授業中に発表できなかった人は、6時間の授業の中で1回は手を挙げてみる。学校行事の実行委員に立候補してみる。自分から挨拶をする。何でもいい。行動を起こしてみてください。

## 【3年生へ】

3年生の皆さんへ贈るキーワードは「支えあい」です。これから、進路決定をする大事な時期に入っていきます。今まで培ってきた様々な力を総動員して、自分をよく見つけ、自分の良さを存分に発揮できる進路選択をしてほしいと思います。

進路実現という自分自身のゴールのためにも、悩んだ時には、周りの友達に相談してください。先生方に相談してください。家族に相談してください。中学校卒業後の進路は、君たちにとって人生最初の大事な分岐点です。だからこそ、自分一人で抱え込まずに、支えあって乗り越えていきましょう。

## 【全校生徒の皆さんへ】

自分の学力を伸ばすために、「これまでの家庭学習時間+30分」ということをぜひ意識して実践してください。1学期、ほとんど家庭学習をしていなかった人は、毎日30分でかまいません。1時間、2時間以上学習をしていた人は、30分だけ伸ばしてください。「塵も積もれば山となる」です。ぜひ、取り組んでください。学力の向上に必ずつながってきます。

## 校長のひと一言⑪

今年の全国高校野球選手権大会は、京都国際高校が初優勝して幕を閉じました。優勝した学校は参加した3715校の中の1校だけです。その他の3714校は全て「負け」で終わります。地方大会の決勝で敗退した仙台育英高校の須江監督が試合後に1、2年生の選手に語った「ラストミーティング」の記事が載っていましたので紹介します（朝日新聞R6.7.31）

「甲子園に行くのは甘くないんだよね。1回のミスで、終わっちゃう。いつも良いことばかりじゃない。負けて学べるかどうかだからね。まさに敗者復活戦じゃない。一生忘れたくないなあ、今日はなあ。ここからだよ、ここから。いつも沈んだ後で大きくジャンプできる。気持ちの問題じゃないぞ。技術の問題もある。頭の問題もある。心の問題も、複雑に絡み合っているから気持ちも強くしないといけないし、技術も上げていかないといけないし、ここ一番冷静にやれる頭を鍛えとかないといけない。（中略）学校とか生活とか全部整えて行って、この敗戦を全部、学びに変えないといけない。さあ新しいスタートだ。」

今年の夏はオリンピックがありました。敗者という視点で振り返ると、柔道の阿部詩選手が試合に負けた後、慟哭（どうこく）といってもいいほどに号泣している様子がとても印象的でした。私たちが想像もつかないような重圧と戦ってきたことや、負けたという事実に自分自身を許すことができなかったことなど、様々な感情が交錯して感情があふれ出たのだと思います。上記の須江監督の言葉は、野球だけではなく、全ての競技に、もっと言うならば人生で悩んだ時に指針となる言葉だなと思いました。

さあ、2学期のスタートです。実り多い学期にしましょう！